

耳管狭窄症（じかんきょうさくしょう）

耳と鼻の奥を結ぶ細い管の事を耳管といいます。耳管はいつも閉じていて、唾液をのみこんだり、あくびをした時に開いて、中耳の気圧と外の気圧を一定に保つ機能があります。この耳管がつまって、中耳の中の気圧に変化がocこり、鼓膜がへこんだ状態を、耳管狭窄症といいます。耳管狭窄症が更に悪化すると、滲出性（しんしゅつせい）中耳炎という治りにくい中耳炎になる事があります。

耳管狭窄症の原因

鼻炎・のどの炎症・アデノイド肥大（鼻の奥にある扁桃腺）・鼻やのど腫瘍。

気圧の急激な変化（飛行機，登山，潜水等）。

耳管狭窄症の症状

耳のつまった感じ・耳の聞こえが悪くなる・自分の声がひびく・耳鳴。

耳管狭窄症の診断

鼓膜の色と形状の変化。

聴力検査・鼓膜の振動検査（確定診断）

耳管狭窄症の治療

鼻やのどの耳鼻科的治療と、耳管通気（鼻から細い管で空気をとおす治療法）

アデノイド肥大があれば、手術の必要な場合もあります。

耳管狭窄症の程度

高度：鼓膜に変化が強く、精密検査をしなくても、耳鼻咽喉科専門医なら、鼓膜を見ただけで診断がつく時。

中等度：鼓膜に変化がなく、精密検査をして初めて診断がつく時。

軽度：鼓膜に変化がなく、検査も正常。ただ患者さんの自覚症状だけがある時。

耳管狭窄症のうちに治療して、滲出性中耳炎にならない様にする事が重要です。

矢野耳鼻咽喉科
医学博士

藤沢市善行 1-25-11
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科学会専門医

8 1 3 5 4 1
矢野 潮
矢野 ゆかり
矢野 さゆり